

symposium

漆 輸出される工技

11/12 sun
13:00 - 18:00

京都工芸繊維大学
60周年記念館1階ホール
(オンラインも同時実施)

第1部

テーマ報告

杉浦未樹 (法政大学)

「明治から昭和戦前期の漆工芸品の輸出」

井上さつき (愛知県立芸術大学名誉教授)

「国産ピアノと漆工」

モニカ・ビンチュク (メトロポリタン美術館アジア美術部学芸員)

「西洋における漆の受容」

後藤浩子 (法政大学)

「漆工と工芸作家：菅原精造と日本漆芸」

第2部

基調講演

下出祐太郎 (京都産業大学名誉教授)

「漆工芸の特性を海外に発信する - 歴史的意義を踏まえて -」

第3部

ラウンドテーブル

「漆の現代的意義をめぐって」

下出祐太郎 (京都産業大学名誉教授)

並木誠士 (京都工芸繊維大学特定教授)

津田和俊 (京都工芸繊維大学講師)

司会

杉浦未樹 (法政大学)

井戸美里 (京都工芸繊維大学)

主催

法政大学比較経済研究所プロジェクト
「工芸品史 1850-1950年代における輸出品をめぐる工と芸の場と文脈の形成」
京都工芸繊維大学 KYOTO AGORA コモンズ研究会
「近代の展示・陳列の場みる「文化財」共有の可能性」

参加希望の方は、
<https://forms.gle/N2Gvk3qQxpdMk4Ff8>
にご回答ください

